

# 平成24年度事業報告書

## 1. 事業概要

### 1) 基本方針

公益財団法人那須塩原市農業公社は、栃木県那須塩原市において農地利用集積円滑化事業その他担い手の確保・育成等農業構造の改善に関する事業を行い、農業の生産及び販売基盤を強化し、農業の振興及び消費者への食の安定供給を図り、もって地域社会の健全な発展に寄与することを目的として次の事業を行った。

- (1) 農地利用集積円滑化事業
- (2) 農業者研修育成事業
- (3) 認定農業者育成事業
- (4) 農林業施設の管理運営事業
- (5) 都市農村交流促進事業
- (6) 農業情報の収集、分析及び提供事業
- (7) 地域農産物の研究開発及び商品化事業
- (8) シルバーファーマー事業
- (9) その他目的を達成するために必要な事業

### 2) 事業実績

#### (1) 農地利用集積円滑化事業

後継者不在により農業経営の維持が困難な高齢者の農家や規模縮小を図る兼業農家、離農する農家又は相続等により農地を所有する非農家から受ける農地の有効利用についての相談、一方農業経営の規模拡大に取り組もうとする地域農業の担い手から受ける農地集積についての相談に対して、農地利用集積円滑化団体として賃貸借や売買といった農地の利用集積方法についてのアドバイスをを行い、具体的な利用権設定および所有権移転への方向へ導き、農地の面的集積および流動化の推進に努めた。

○合同受付・相談会開催日

(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

		24.10月	11月	12月	25.1月	2月	3月
利 用 権	黒磯	随時	随時	随時	随時	2/12～14	3/4
	西那須野	10/24	11/16	12/18	1/22	2/18	3/19
	塩原	10/10.25	11/21	12/21	—	2/22	3/22
所有権移転		10/23	11/26	12/21	—	—	3/22

#### ①農地所有者代理事業

農地の有効利用のために、高齢化や後継者不在により規模縮小する農家、離農する農家又は相続等により農地を所有する非農家から、貸付先を特定しない旨の白紙委任を受け、委任契約を実施した。これに合わせ、

農地所有者を代理して公社がその委任内容の受け手として認定農業者を中心とする地域農業の担い手の選定を行い、農地の面的集積等について協議を重ねた上で賃貸借契約を実施した。

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

	件数	面積
代理委任契約締結	192 件	194ha
前年度(比較%)	203 件(94.6%)	203ha(95.6%)

## ②農地売買等事業

農地の有効利用のために、高齢化や後継者不在により規模縮小する農家、離農する農家又は相続等により農地を所有する非農家の要請を受けて農地の借り受けに係る賃貸借契約を実施した。

これに合わせ、その農地の新たな貸し付け先として認定農業者を中心とする地域農業の担い手の選定を行い、農地の面的集積等について協議を重ねた上で貸し付けに係る賃貸借契約を実施した。

また、賃借料においては、借り手からの口座振替および貸し手への口座振込に係る出納事務を年間を通じて適正に処理を行った。

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

	件数	面積	賃借料
公社が借入	202 件	277ha	38,640 千円
公社が貸付	201 件	277ha	
前年度 (比較%)	公社が借入 179 件(112.8%)	235ha(117.9%)	35,770 千円(108%)
	公社が貸付 185 件(108.6%)	235ha(117.9%)	

## ※ 2 4 年度利用権設定等実績 (公社が借手と貸手の間に入った契約+相対の契約)

期末貸借総ストック【(A) - (B) + (C)】

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

	件数	面積	田	畑
期末貸借総ストック	1,459 件	1,375ha	1,036ha	339ha
前年度(比較%)	1,392 件(104.8%)	1,314ha(104.6%)	986ha(105.1%)	328ha(103.4%)

(A) 期首貸借総ストック

(平成 24 年 3 月 31 日現在)

	件数	面積	田	畑
期首貸借総ストック	1,392 件	1,314ha	986ha	328ha

(B) 当年度内満了、解約

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

	件数	面積	田	畑
満了、解約	251 件	210ha	170ha	41ha
前年度(比較%)	212 件(118.4%)	187ha(112.3%)	143ha(118.9%)	44ha(93.2%)

## (C) 当年度内新規設定、再設定

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

		件数	面積	田	畑
新規設定		98 件	80ha	61ha	19ha
再設定		220 件	191ha	159ha	32ha
前年度 (比較%)	新規	80 件(122.5%)	80ha(100%)	53ha(115.1%)	27ha(70.4%)
	再設定	184 件(119.6%)	172ha(111%)	130ha(122.3%)	42ha(76.2%)

## ③農地売買等受託事業

地元の農業公社ということで市内の農地情報に精通していることから、農地利用集積円滑化事業の一環として、高齢化や後継者不在により規模縮小する農家や離農する農家又は相続等により農地を所有している非農家からの農地売却に関する相談等に応じ、対象農地の現況確認や買い受け予定者との調整を行った。

これらの調整結果について、農地の売買を主に農地保有合理化事業を展開する公益財団法人栃木県農業振興公社へ情報提供を行い、農地売却を希望する農家への支援を行った。

また、自身の農業経営改善計画の一策として保有する農地の規模拡大を目指す農業者の農地の買い受けに関する相談等に応じ、適宜アドバイスや情報提供を行った。

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

		件数	面積	田	畑
所有権移転		36 件	32ha	11.7ha	20.3ha
前年度(比較%)		25 件(144%)	24ha(133.3%)	14.1ha(83%)	9.9ha(205.1%)

## ④規模拡大加算関係

昨年度に引き続き、戸別所得補償制度の加算措置である規模拡大加算について、市農業再生協議会と連携し、規模拡大志向の農業者へ交付金対象の可能性があると思われる新規の利用権設定の促進を図り、併せて農地の面的集積状況について確認作業を行った。

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

		件数	面積
規模拡大加算		43 件	57ha
前年度(比較%)		25 件(172%)	38ha(150%)

## ⑤人・農地プラン関係

平成 24 年 10 月 29 日に那須塩原市が人・農地プランを作成し、利用集積円滑化団体として各種会議および地域検討会等への参加、情報提供等を行った。また、市農務畜産課と連携し、高齢農業者や兼業農業者から白紙委任を取り付けて地域の中心となる経営体へのマッチングを図った。

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

		件数	面積
人・農地プラン		9 件	12ha

## (2) 農業者研修育成事業

農業・農村の活性化を図るために、地域の中心となる農業担い手の積極的な農業経営の参画や魅力ある農業経営の確立が重要視される中、これらの対応策として次の事業を行った。

### ①講演会、研修会等の受講参加促進

経営管理能力の向上や農業農村の活性化、農業の持続的発展を図るため、地域農業者に講演会、講習会、研修会等の受講の機会を与え、積極的な参加促進を図った。

実施日	内 容	人数
11月28日	那須地方農政講演会（放射性物質の影響、食と長寿について）	1
1月24日	那須地方農業者懇談会（講演会：活力ある栃木ブランドを全国に発信！）	4

### ②海外派遣研修事業

次の時代を担う青年農業者を海外に派遣し、海外先進農業事情等について調査研究を行うことにより、今後見込まれる農産物等の貿易自由化に向けた生産性の効率化や農業の大規模化等国際化の進展に対応できる優れた担い手を育成するための海外研修事業を行った。

参加した2名とも、規模の違いはあるものの、食の安全性へのこだわり、減農薬や有機栽培への取り組み、自然エネルギーの活用、生産・加工・販売の確立など、短期間ではあったものの多くのことを学ぶことができたことから、今後においては地域農業の発展のために活発な活動が期待できるものとする。

研修期間	内 容	人数
9月24日～10月3日	農業者海外研修派遣（イタリア、オランダ、フランス）	2

## (3) 認定農業者育成事業

経営感覚に優れ、効率的かつ安定的農業経営を目指す中核的農業経営体を育成するため、農業関係機関と連携を密にしながら、認定農業者の経営改善相談等育成・支援と併せて、新規に認定農業者の資格取得を希望する農業者に対して、経営改善計画作成の支援を実施した。

加えて、認定農業者への各種情報の周知手段として、認定農業者の資格を有する者で認定農業者の会を組織化しかつその強化を図り、会が中心となって講演会や講習会および研修会等を開催し、認定農業者の資質の向上に努めた。なお、会の事務局を公社が担うことで会の運営全般について支援に当たった。

### ①農業経営改善計画書の作成に係る相談及び審査について

認定農業者の認定期間満了に伴う再認定を希望する農業者や新規認定を希望する農業者に対して、農業経営改善計画書の作成指導会を毎月1回実施し、認定農業者の確保および新規認定農業者の発掘を図った。同時に認定期間満了に伴う農業者と認定期間3年目の農業者に対しては、面談において経営改善状況調査を行

った。

また、平成24年8月から、公社が主体となって農業経営改善計画書の内容についての審査会を毎月1回実施し、審査の結果について那須塩原市長へ進達を行った。

○認定農業者数の推移 (平成25年3月31日現在)

	24.4月	5月	6月	7月	8月	9月
認定農業者数	596	602	603	601	603	604
(当月認定者数)	10	12	1	2	12	3
	10月	11月	12月	25.1月	2月	3月
認定農業者数	602	599	599	598	594	593
(当月認定者数)	4	4	2	7	3	10

○認定農業者数 (地区別) (平成25年3月31日現在)

	黒磯	西那須野	塩原	合計
25年3月末	365	135	93	593
24年度内認定(内新規)	45(5)	8(2)	17(1)	70(8)
24年3月末(比較%)	369(99%)	138(97.8%)	92(101.1%)	599(99%)

○認定期間3年目調査人数 (平成25年3月31日現在)

	黒磯	西那須野	塩原	合計
認定期間3年目調査	41	22	14	77

○集合指導会開催日 (平成24年10月1日～平成25年3月31日)

	24.10月	11月	12月	25.1月	2月	3月
黒磯	10/21	11/22	12/20	1/18	2/20	3/21
西那須野	10/24	11/16	12/18	1/22	2/18	3/19
塩原	10/10.25	11/21	12/21	—	2/22	3/22

②認定農業者の育成・支援、認定農業者の会の運営

認定農業者に有利となる各種施策や制度、農地情報等について逐次情報提供を行った。

また、認定農業者で構成する認定農業者の会の事務局を公社が担い、会が中心となって開催する講演会や講習会および研修会、地域貢献に伴うイベントへの参加等、会の運営全般について支援に当たった。

加えて、県や農業関連団体が主催する事業についても積極的な参加促進を図った。

なお、認定農業者の会については、一年を通じて本会及び各支部役員会を開催し、会の更なる円滑な運営を図ることを目的とした支部統合に向けての組織再編について協議を重ねた。

協議の結果、各支部の解散総会を経て、平成25年3月15日には全会員を対象とした総会を開催し会の規約の変更等が承認され、平成25年4月1日から那須塩原市認定農業者の会として一本化した組織体制の実現化を図った。

※役員会等開催実績… 本会4回、黒磯支部・西那須野支部・塩原支部各5回、役員選考委員会1回

#### 認定農業者の会研修・事業等

実施日	内 容	人数
10月18日	くず米共同出荷（西那須野支部事業）	8
10月21日	新米つかみどり（西那須野支部事業 ※畜産フェアにて）	9
10月31日 ～11月1日	第15回全国農業担い手サミット in あきた（秋田県由利本荘市、鹿角市）	13
11月20日	黒磯支部畜産研究会視察研修会（茨城県守谷市）	10
11月28日	那須地方農政講演会（放射性物質の影響、食と長寿について）	1
11月29日	平成24年度栃木県農業優良担い手躍進大会	21

#### (4) 農林業施設の管理運営事業

##### ①農林業施設管理運営事業

本市の農産加工・流通及び情報発信の拠点となる道の駅「明治の森・黒磯」等の受託管理運営等を適切に行い、施設の機能を有効に活用しながら、地域農産物等の流通を促進した。

さらに東日本大震災に起因する原発事故の風評被害による観光客の減少による道の駅の減収分を東京電力に賠償金請求を行った。

また、感謝祭や収穫祭といったイベントを企画し、農産物の消費拡大や安全・安心のPR等を行うとともに、市民への憩いの場を提供した。

加えて、地元小学生や道の駅を訪れた子供たちに農作業を体験してもらい、農業や植物に対する興味を持つきっかけの場を提供した。

国の重要文化財に指定されている旧青木家那須別邸を含め、道の駅全体の管理として、消防衛生施設の点検、消防訓練、害虫の駆除、道の駅トイレの清掃管理、ハンナガーデンの管理等を行い、利用者が安心して利用できるよう努めた。

#### 平成24年度「明治の森・黒磯」利用状況

	道の駅利用者数	利用者 前年比	売上高計		売上高 前年比	記念館	前年比
						青木邸有料入館数	
10月	44,875 人	91.5%	13,225	千円	96.5%	1,289 人	107.2%

11月	35,860 人	98.9%	10,617	千円	100.9%	1,077 人	129.8%
12月	26,220 人	101.2%	7,400	千円	86.8%	295 人	80.2%
1月	16,690 人	101.6%	4,965	千円	113.3%	192 人	75.3%
2月	18,275 人	107.4%	5,423	千円	124.3%	207 人	115.0%
3月	24,800 人	104.6%	7,782	千円	121.1%	350 人	86.4%
計	166,720 人	99.0%	49,412	千円	103.1%	3,410 人	105.2%

※直売所、レストラン等の入込み数は推定、青木邸は実数である。

#### イベント内容

イベント名	開催日	主な内容	来客数(人)
収穫祭	11月4日	割引販売、さつま芋フライの試食・米のつかみ取り	5,000
クリスマスイベント	12月23日	ホットミルク試飲・卵のつかみ取り	700
初売り	1月4日	福袋販売・抽選会・おしるこサービス	500
バレンタインイベント	2月9～11日	じゃんけんによるバレンタインプレゼントの配布	200

※来客数については推定である。

#### その他事業

	開催日	場所	対象	参加人数(人)
さつまいも収穫体験	10月25日	道の駅	青木小学校3・4年生	30
さつまいも掘れ掘れ大会	11月4日	道の駅	小学生以下の道の駅利用者	102

#### ②道の駅管理販売事業

物産センター内の販売コーナーを使用し、市の特産品である牛乳、イチゴなどの仕入れ販売を行い、本市のPRや情報発信を行った。また、本年度より冬場の野菜不足解消のため春菊、ニラ、ウドなどの仕入れ販売も行い、利用者確保に努めた。

ホームページやWiFi機能を活かし、現在の旬な商品の情報や那須塩原ブランド商品を紹介し、販売促進につなげた。

#### (5) 都市農村交流促進事業

都市住民からの野菜等を栽培して自然に触れ合いたいという気運要請と市内の遊休農地を始めとする未利用農地の有効活用を図るべく、農地所有者の協力の下、農業に興味のある市民を対象にふれあい農園を開設

し管理業務を行った。

利用者は、農業の魅力である自ら土に触れ、耕作し、収穫する喜びを直に体験することで農業への理解を深め、農地所有者においても利用者からの作付け方法を始め農業に係る相談に応じるなど、お互いに交流を図ることで消費者ニーズ等の把握、都市と農村との相互理解を深めた。

管理面においては、年間を通じて農園の利用状況について現地確認を行い、不良個所の整備、看板の設置、利用者からの苦情等への対応を図った。加えて空き区画への対応として、農園利用を促す記事を市広報や各戸回覧を通じて幅広く周知し、利用率の向上に努めた。

また、年度末においては、次年度の準備として利用更新希望者の更新手続きや、空き区画対策として市広報及び各戸回覧により広く新規利用者の募集を図った。

ふれあい農園利用状況 (平成25年3月31日現在)

	黒 磯	西那須野	塩 原	合 計
農 園 箇 所	6	6	2	14
区 画 数	113	177	41	331
利用区画数	77	175	35	287
前年度(比較%)	77(100%)	177(98.9%)	35(100%)	289(99.3%)

#### (6) 農業情報の収集、分析、提供事業

新聞やインターネット等様々な媒体を通じてより広く農業関連の情報を収集、分析提供して農業経営の改善を推進した。

また、栃木県、那須塩原市、農業関係機関・団体との連携を密に行い、農用地や農業全般の情報、講演会、研修会開催周知の情報等を市の広報、チラシ等の配布を通じてより広く提供を行った。

加えて、昨今の情報化社会に対応すべく、24年度より新たに公社独自のホームページを開設しより広い情報発信を行うと共に、農地の賃貸借や認定農業者の申請に係る様式等もホームページから取得ができるよう整備し、利用者の利便性を図った。

加えて、公益を増進する公益法人として、高まる情報公開の必要性から定款、事業計画、正味財産増減予算書等の公開に努めた。

#### (7) 地域特産物の研究開発及び商品化に関する事業

① (有) ミートショップ金澤、青木産直会合同による地元特産品(農産物・加工食品等)を活用したお歳暮のギフトづくりの検討、研究、販売を行った。

研修・検討会開催

期 日	内 容	参集者 (人)
10月 4日 (木)	ギフトづくり研究会 (内容の検討)	5
10月 9日 (火)	ギフトづくり研究会 (試作品の作成)	7
10月 24日 (水)	ギフトづくり研究会 (内容、ネーミングの確認)	6
10月 26日 (金)	カタログ写真撮影	2
12月 23日 (日)	ギフト発送 (1回目)	4
12月 27日 (木)	ギフト発送 (2回目)	15
1月 17日 (木)	ギフト作り検討会	5

②青木産直会、道の駅利用者会合同による道の駅「明治の森・黒磯」における地域特産品開発のため、先進地への視察研修をおこなった。

視察日	12月10日(月)～11日(火)
参加人数	25名
視察研修先	道の駅「どうし」 山梨県道志村 道の駅「とよとみ」 山梨県中央市
視察研修内容	地元特産の「クレソン」を利用した商品開発
道の駅「どうし」	冬場の野菜不足の対応 季節にあったイベント
道の駅「とよとみ」	地元特産の「トウモロコシ」を利用した商品開発 「トウモロコシ」の販売方法

(8) シルバーファーマー事業

①シルバーファーマー養成支援塾

平成23年度は市農務畜産課、平成24年度は公社が市農務畜産課から委託を受け、農業に関心があり、労働意欲が旺盛な60歳前後の市民を対象に、農業ヘルパーとして農家が求める労働者を養成するためのシルバーファーマー養成支援塾を行った。塾生は、机上研修において農業全般に関する基礎知識を学び、実地研修において圃場で農業機械の操作や園芸作物の栽培を行い農業者としての知識と技術の習得に努めた。具体的な作業を経験するため、栽培農家での実地研修も行った。

実施期間	平成24年4月15日～平成24年12月9日
実施回数	20回 (机上研修・圃場研修・実地研修)

研修場所	県農業試験場埼玉分場		
実地研修	11/8	小山氏（上塩原）圃場 大根の収穫・水洗	11名参加
	11/11	益子氏（鍋掛）圃場 トマトの収穫	15名参加
受講者数	22名（男性18名 女性4名）		
講師数	6名		
栽培作物	トマト、きゅうり、なす、にんじん、大根、白菜、ほうれん草		

## ②シルバーファーマーの活用

平成23年度にシルバーファーマー養成支援塾を受講した第1期修了生と第2期生の人材登録者と、シルバーファーマー活用申請のあった農家とのマッチングを行った。

(平成25年3月31日現在)

シルバーファーマー養成支援塾修了生	70名	男性59名 女性11名
シルバーファーマー人材登録数	57名	男性48名 女性9名
シルバーファーマー活用登録数	9名	
マッチング件数	6件	
マッチング人数	18名	男性14名 女性4名

## (9) その他目的を達成するために必要な事業

### ①公益法人制度改革による公益法人移行認定申請について

10月1日 財団法人那須塩原市農業公社解散（名称変更による）

公益財団法人那須塩原市農業公社設立（名称変更による）

11月30日 従たる事務所（支所）の廃止について

### ②適切な管理・運営の実施

I 財務状態を改善するとともに、財政基盤の明確化に努めた。

II 公益目的事業の適切な実施のため、公益財団法人那須塩原市農業公社規程・規則・要綱等に沿った適正な事務及び経理の処理に努めた。

III 貸借対照表その他計算書類等の事務所への備付け・一般への供覧により情報開示の適正性を高めるよう努めた。

IV その他公益財団法人としての適正な事業運営に必要なことの対応に努めた。

## 2. 評議員会に関する事項

区 分	開催年月日・場所	付 議（ 決 議 ） 事 項	
1 回	平成 24 年 11 月 12 日 那須塩原市役所 901 会議室	報告第 1 号	財団法人那須塩原市農業公社平成 24 年度事業報告について
		議案第 1 号	財団法人那須塩原市農業公社平成 24 年度決算報告の承認について
		議案第 2 号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成 24 年度事業計画の承認について
		議案第 3 号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成 24 年度予算の承認について
		議案第 4 号	従たる事務所（支所）の廃止の承認について
2 回	平成 25 年 2 月 18 日 那須塩原市役所 303 会議室	報告第 1 号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成 24 年度事業報告について
		議案第 1 号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成 24 年度第 1 回補正予算の承認について
		議案第 2 号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成 25 年度事業計画の承認について
		議案第 3 号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成 25 年度予算の承認について
		議案第 4 号	定期提出書類（事業計画書等）の確認について
		議案第 5 号	字句修正に係る委任決議について

## 3. 理事会に関する事項

区 分	開催年月日・場所	付 議（ 決 議 ） 事 項	
1 回	平成 24 年 10 月 30 日 那須塩原市役所 901 会議室	第 1 号議案	財団法人那須塩原市農業公社平成 24 年度事業報告について
		第 2 号議案	財団法人那須塩原市農業公社平成 24 年度決算報告について
		第 3 号議案	公益財団法人那須塩原市農業公社平成 24 年度事業計画について
		第 4 号議案	公益財団法人那須塩原市農業公社平成 24 年度予算について
		第 5 号議案	公益財団法人那須塩原市農業公社諸規程の廃止及び制定について
		第 6 号議案	従たる事務所（支所）の廃止について
		第 7 号議案	公益財団法人那須塩原市農業公社評議員会の開催について

2回	平成25年1月30日 那須塩原市役所 301会議室	報告第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成24年度事業報告について
		議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成24年度第1回補正予算について
3回	平成25年2月18日 那須塩原市役所 303会議室	議案第2号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成25年度事業計画について
		議案第3号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成25年度予算について
		議案第4号	定期提出書類（事業計画書等）の確認について
		議案第5号	字句修正に係る委任決議について

#### 4. 登記に関する事項

登記原因年月日	申請先	事項	登記年月日
平成24年10月1日	宇都宮地方法務局	名称変更による解散	平成24年10月1日
平成24年10月1日	宇都宮地方法務局	名称変更による設立 (公益財団法人那須塩原市農業公社へ)	平成24年10月1日
平成24年11月12日	宇都宮地方法務局	従たる事務所（支所の廃止について	平成24年11月30日

#### 5. 栃木県知事への届出等に関する事項

届出等年月日	事項	備考
平成24年10月1日	移行登記完了届出書（公益法人移行登記完了に伴う）	県文書学事課
平成25年3月11日	定期提出書類	県文書学事課
平成25年3月27日	平成24年度事業報告書及び決算報告書	県経営技術課

#### 6. 契約に関する事項

契約年月日	契約の相手方	契約の概要
平成25年2月26日	那須塩原市 農務畜産課	アグリ体験事業（ふれあい農園開設・管理業務）の変更契約

7. 評議員に関する事項 (平成24年10月1日現在)

氏名	就任年月日	備考
阿久津 憲二	平成24年10月1日 就任	那須塩原市長
川嶋 寛	平成24年10月1日 就任	那須野農業協同組合代表理事組合長
二ノ宮 徹夫	平成24年10月1日 就任	那須塩原市農業委員会会長
田代 仁	平成24年10月1日 就任	黒磯土地改良区代長
小針 勇	平成24年10月1日 就任	栃木県農業士代表
月井 美好	平成24年10月1日 就任	認定農業者の会代表

8. 役員に関する事項 (平成24年10月1日現在)

役職	氏名	就任年月日	備考
理事長	斉藤 一太	平成24年10月1日 就任	那須塩原市産業観光部長
常務理事	小池 則男	平成24年10月1日 就任	(公財)那須塩原市農業公社事務局長
理事	岡本 幸吉	平成24年10月1日 就任	那須塩原市農業指導士会会長
理事	川嶋 勇一	平成24年10月1日 就任	那須塩原市産業観光部農務畜産課長
理事	藤田 一郎	平成24年10月1日 就任	那須塩原市農業委員会事務局長
理事	金丸 智久	平成24年10月1日 就任	那須野農業協同組合黒磯営農経済センター課長
理事	君島 悦夫	平成24年10月1日 就任	那須野農業協同組合塩那営農経済センター課長
理事	川嶋 一久	平成24年10月1日 就任	酪農とちぎ農業協同組合那須高原支所長
監事	後藤 のぶ子	平成24年10月1日 就任	那須塩原市会計管理者
監事	江連 有一	平成24年10月1日 就任	那須野農業協同組合理事

9. 職員に関する事項 (平成25年3月31日現在)

所属区分	人員	職員区分				備考
		市派遣	農協派遣	公社職員	公社採用臨時職員	
公社事務局	事務局長	1	1			
	主幹係長					
	係	8	1	2	3	2
道の駅	所長	(1)	(1)			事務局長兼務
	係	6				6
計	15	2	2	3	8	